



有松まちづくりの会役員会 (2月27日)

日本遺産関係諸事業の組織編制について、竹田会長より報告がありました。自走化が求められる中、今後の有松まちづくりの会の取り組みについて、皆で考えていくことになりました。町並み研修会(勉強会・意見交換会)については来年度の実施になりました。

来年度の総会について、概ね5月18日(木)13:30〜に来賓・講演会無しで実施することになりました。また、役員の改選についても竹田会長中心に詰めていくことになりました。

有松地区における古民家利活用の考え方 住民説明会 (1月28日)

有松小学校を会場に
名古屋市歴史まちづくり推進室の水野係長・栗並主査から住民の方に説明がありました。

この問題への住民の関心は高く、説明会場の教室には30数名の方が訪れ熱心に説明を聞いていました。また、質問も出されていました。今後、有松での古民家利活用は中心的な課題のようです。配布資料の一部を紹介します。



住民説明会の様子

《背景と目的》 東海道沿いは人口減少・高齢化が進み、伝統的建造物の老朽化・遊休化が進む。地域資源を活かしながらコミュニティや地域経済を持続的に発展させるため、地域全体で古民家の新たな利活用の取り組みを進める。

今後、古民家利活用における基本的な考え方が地域住民に広報されるとのことです。また、古民家利活用の動きはすでに始まっています。(紹介記事3面に記載)

有松あないびとの会 総会 (1月17日)

校会館を会場に、2022年事業報告等・2023年事業計画等が審議・承認されました。昨年の案内実績は、320件2500人程。岡家住宅5600人程。また、「ガイドマニュアル」最新版作成の報告がありました。新年度の事業計画は今期より年間に改定されました。

総会后、有松校商工協同組合の成田基雄理事長から「戦後の絞り産業の変遷」のお話をいただきました。



加藤会長挨拶(左)・総会の様子(右)

文化財防火デー in有松（1月26日）

法隆寺の金堂が炎上し壁画が焼損したことを機に制定された「文化財防火デー」の日に、岡家住宅(名古屋市指定有形文化財)で防火訓練が行われました。2年に1回、鳴海と有松で交代で実施され、前は井桁屋(愛知県指定有形文化財)でした。

通行人が岡家住宅から白煙が上がっている旨知らせるところから訓練開始です。岡家住宅に詰めているあないびとの会の方が119番通報すると共に、初期消火を行いました(右上写真)。あないびとの会の方や訓練に参加された3町の皆さんの真剣な取り組みに頭が下がります。

引き続いて有松消防団により消防訓練が行われました(写真左)。鈴木団長以下5名のきびきびした動きが印象に残りました。「消防団員のなり手がなかなかいません」との話もいただきました。

その後は、裏庭で近隣住民の皆さんが消火訓練を受けていました(写真右下)。南海トラフ巨大地震を想定した今回の訓練は、自分たちで初期消火をする、つまり自分たちのまちは自分たちで守るということを目指して行われています。有松ではすでに2年前より、「街かど消火ハリアー」という20mホースを収納したものの一般家庭への配置が始められています。水道の蛇口に接続して放水できるものですが、一定の水圧が必要なため配置が進まないとのことでした。

小学3年生 あないびとの会と地域学習

「近隣の小学校の見学をもっと増やしていきたい」（有松あないびとの会会長加藤明美氏談）

○ 桶狭間小学校(2月1日)

3年生88名が2グループに分かれて学校から歩いて有松を訪れました。お迎えは有松あないびとの会13名です。井桁屋さん前で有松の街並み、山車会館では見事な山車やからくり、竹田庄九郎碑前では絞りの話を、どの子どもとても熱心に聞き、特製プリントに細かくメモしていました。

事前学習もしっかり、案内者を時間いっぱい質問責めにしていました。

○ 平子小学校(2月6日)

有松の見学を選んだのは25人。3グループに分かれて岡家住宅や天満社を見学しました。「素直で元気だけでなく質問もたくさん。天満社の長い階段では子どものお尻を押して登りました」とのこと。熱心に見学する児童の様子や児童との楽しい触れ合いが伝わってきます。探検ボードの用紙は文字で埋まっていました。

○ 有松小学校(2月9日)

地元の学校だけあって、小さい頃から慣れ親しんだ有松の東海道といった様子でした。山車会館では「昨年(山車)まつりを見たよ。人形は人がひもを引っ張って動かすんだ」と、ガイドさんに説明する児童の姿も見られました。中濱商店を通り過ぎるとき、「泥棒！」の声。蔵に入ろうとする福よせ雛にも関心を示していました。



春に向け、各地でにぎわい！

1月にピークを示した新型コロナウイルスの感染状況は、だいぶ落ち着きを取り戻しています。2月に入り各地を訪れる人々は増加傾向に。

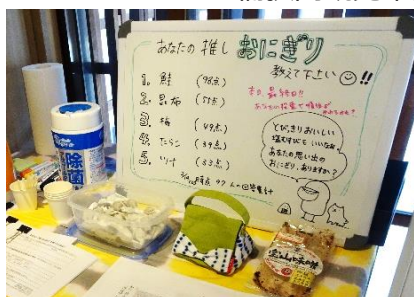
有松では観光バスでの団体客が増えてきています。大高ではNHK大河ドラマの放映効果で、有松でのにぎわい：井桁屋前
ようか、ガイド依頼が多く寄せられているそうです。もちろん、桶狭間の合戦の舞台である「桶狭間観光案内所」には多くの人



「まちに社交場」誕生 (2月9日～2月15日)

「ありまつ舎通(つなぐ)」の展示スペースで、空き店舗を活用しての社交場づくりの計画が紹介されていました。西町にあった理髪店「セヴィラ」を改装し、おにぎりとみそ汁を提供し、文具販売も予定しているとの事。準備を進める「ありまつ中心家守会社」の共同代表の武馬淑恵さんは、「有松幼稚園に送迎するお母さん方にも気楽に寄ってもらえる場にしたい」と語っていました。

桶狭間観光案内所前のにぎわい



押しおにぎりアンケート結果

店舗活用案

《参考》空き店舗の再生を目指す「ナゴヤ商店街オープン」(主催：名古屋市)の取り組みの一環。

福よせ雛 設置作業進む

2月25日から3月21日まで行われる「春のありまつさんぽ道」に向けて、街道を飾る福よせ雛の設置作業が進められています。取り組みが始まって8年目。その中で、多大な協力をいただいている団体の一つ名古屋短期大学の取り組みが、2月15日NHK総合まると！で紹介されていました。「まちづくりを研究する学生さんが福よせ雛を地域おこしに活用し、古い町並みに飾ることで、町に賑わいを創出している」(番組で)様子が放映されていました。

参加団体は徐々に増え、今年は国際芸術祭を契機に生まれた有松手芸部が加わりました。代表の中尾結美さんは「メンバーの触れ合いを大切にしている」とのこと。1月26日にお伺いした時は、籠をサッカーゴールに見立てたユニークな福よせ雛を制作していました。



有松手芸部の制作風景



山車会館での制作風景



設置作業を終えた学生さん達

NHK大河ドラマ「どうする家康」第4回の放送を見ていると、注目すべき場面があった。

元康の大高城への兵糧入れに関して、藤吉郎が「大高城は義元をおびき出すための餌だった」と語っている。義元西進の理由として、上洛説に変わり今川の三河支配を安定させるためとの見方が広がっている。この新説は、桶狭間への信長進軍ルートについても言える。従来の善照寺砦から迂回して奇襲したとの説から、近年では中島砦を経て南下し義元の本陣を正面から攻めたと考えられるようになってきた。義元の進軍に、積極的に対峙する信長の姿が浮かんでくる。

有松との関りであるが、正面攻撃のルートとして東海道整備以前からある長坂道が考えられるようになってきた。地元にはこれを裏付ける伝承が残っている。有松西端の鎌研橋辺りの話。桶狭間への進軍中この地を通った信長が、鎌を研いでいた草刈に道を尋ねたところ手越と答えたという。鎌研作業の水場が後に「かまとぎ」と言われるようになった。

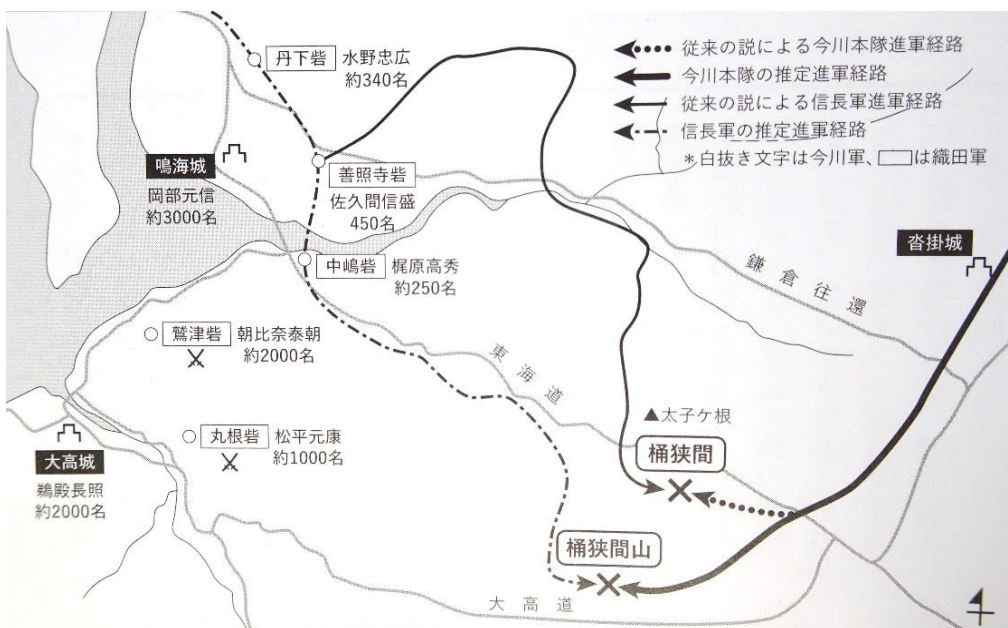
大河ドラマの放映は大高や鳴海・桶狭間の人にとってだけでなく有松の人にとっても桶狭間の戦いを身近に感じ取れる機会になっているようだ。



現在の長坂道



鎌研橋



訂正とおわび 第151号の表紙ページ 一の鳥居前の幟⇒五の鳥居前の幟(本殿より数えます)

催事・行事の予定

- 3月2日～5日 有松まちなみ美術館 竹田家他 有松郵便局のみ24日まで コンソーシアム有松
 3月5日(日) 10:00 アリマツマーケット 有松天満社一帯 ありまつ中心家守会社
 3月9日～12日 有松史料調査保存会発表会 棚橋家
 3月11日(土) 絞開祖並びに物故功労者慰霊祭 絞組合
 3月19日(日) 9:30 有松天満社春季大祭 天満社文嶺講
 3月19日(日) 有松あないびとの会 無料町並みツアー 受付：岡家住宅
 3月20日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン (11時・12時・13時・14時)
 3月21日(火祝) 10:00 有松・東海道福よせ離散策会 緑区ルネッサンスフォーラム
 3月25日(土) 10:00 有松茶会 竹田家茶室「栽松庵」 コンソーシアム有松
 3月26日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
 3月27日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会

発行者 竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)
 編集者 加藤 明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開しています。

